

# コミュニティ・スクールだより

金沢市立中村町小学校  
コミュニティ・スクール事務局  
令和8年2月18日 発行  
第3号

「学校が元気に！ 地域が元気に！」～子どもの健やかな成長のために～

保護者・地域の皆様、日頃より本校の教育活動へのご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、2月5日（木）に第3回学校運営協議会を開催し、今年度の取組の成果や課題、学校評価、来年度に向けた要望等を協議しましたので、その内容をお知らせします。

## ○今年度の取組と評価について

<p>全体</p>	<p><b>&lt;ぬくもりのある学校づくり&gt;</b>  「笑顔いっぱい、元気いっぱいの子供たち」「教育的愛情あふれる教師」「安心・安全で温かな環境」  ○チーム担任制…2人の担任で、学年全体の児童を育てる  ・それぞれ個性のある複数の担任のよさを学年全体の児童の指導に生かす  （教科の持ち合い、単元・朝学習・給食の入替、合同授業・朝の会など）</p> 
<p>知（学習）</p>	<p><b>&lt;よろこびをもって学び合う子&gt;&lt;算数の基礎学力の定着&gt;</b>  ○学びの成長を自覚する授業づくり  ・「やってみたい!」を生み出す工夫、練習問題の時間を確保、朝学習の算数ベーシックプリント、ふりかえりの充実  ○中村塾の開催…1学期:7/23・25・28、8/1・18・20・21 2学期:11/11・18・25 3学期:1/13、2/3・10、3/10  <b>[児童アンケートの結果]</b>  ・授業を通して「できるようになった!」など満足感や達成感がある、と回答した児童が90%  <b>[学力調査の結果]</b>  ・4年国語や6年算数・理科は県や国の平均と同程度、4年算数は県平均を上回っている  <b>[成果や課題]</b>  ・下回っている学年や教科の経年変化でも平均との差が縮まっている  ・無回答率が減り、最後まで粘り強く取り組む姿勢が身に付きつつある</p> 
<p>徳（生活）</p>	<p><b>&lt;生活の基礎・基本を身につけ、自他を尊重できる子&gt;&lt;生活の基礎・基本の定着&gt;</b>  ○生活の凡事徹底…身だしなみに関する約束を再確認し、職員を含めたみんなで声をかけ合う  ○あいさつ運動(生活目標)…隔月の生活目標をあいさつに一本化し、レベルアップしながら定着を図る  （4月:相手に届く、6月:どこでも・誰にでも、9月:いろいろ、11月:大人の人にも、1月:一言など）  ○相手の良さを認める活動…自分がされて嬉しかったことや助かったことを紙に書いて掲示する  <b>[成果や課題]</b>  ・生活の基礎・基本について、多くの児童が意識して過ごすことができた  ・あいさつの意識が高まり、児童・保護者アンケートともに肯定的回答が85%を超えた  ・地域の方からは、「あいさつの声は元気がなくて小さい」と言われることがある  ・自分のことが書かれているハッピーツリーを見て嬉しそうにしている姿が多く見られた</p> 
<p>体（特別活動）</p>	<p><b>&lt;集団活動を通して、仲良しの輪を広げる子&gt;&lt;運動習慣の定着&gt;&lt;防災意識の向上&gt;</b>  ○たてわり活動(たてわり遊び・異学年交流)  ・たてわり遊びやペア学年で交流する活動を多く取り入れる(たてわり読書会・楽器体験・8の字大会など)  ○体力向上の取組  ・ゲストティーチャーによる指導や、スポチャレいしかわ(水泳・持久走・なわとび)の取組を行う  ○防災の取組  ・防災クイズラリー(9年目)や防災出前授業を実施し、地域や市役所の方と交流しながら防災意識を高める  ・校費や資源回収費用で浸水対策用水のうや熱中症対策用テントを整備  <b>[体力運動能力調査結果]</b>  ・全国平均と同程度の水準でバランスよく身に付いている  <b>[成果や課題]</b>  ・異学年交流の場が充実し、たてわり班やペア学年を名前で呼び合ったり応援したりする姿が見られるようになり、温かな縦のかかわりが増えている  ・熱中症の危険から、年間を通じた運動習慣の定着が難しい</p> 

## ○全体協議『今年度の取組や学校評価に対するご意見、来年度に向けた要望等』

### ①新金沢型学校教育モデル（学習）について

- ・毎日の授業の中で学習用端末を100%活用するという指標や達成度基準は難しすぎないか。  
→1日のどこかで端末を活用する場面を設定することはそれほど難しくはない。国や市も今年度までに100%を目指すこととなっているので、本校も同様に取り組んでいる。また、和菓子作りや見学などの体験的な学習を取り入れるなど、デジタルとリアルを組み合わせながら授業を行っている。
- ・例年になく教員の自己評価が高くなっており、よい傾向が見られる。今後も、教職員で目指す授業の共通理解を図りながら、中村っ子にとってよりよい授業づくりを探究してほしい。

### ②生徒指導（生活）について

- ・チーム担任制では、担任とマッチしない児童も、隣のクラスの担任に気軽に相談できるようになれば救われる。教員同士も連携しやすく、2クラス規模の中村町ならではの強みになりそうだと感じた。
- ・不登校は、他の学校に比べてどうか？  
→他校と比較はできないが、別室登校は数名いる。昨年度から校内教育支援センターを設け、支援員やスクールカウンセラー、教育相談、担任等が家庭と連携を図りながら、個別に支援している。
- ・心の状態を把握できる「ここタン」は、どのように活用しているのか。  
→児童は、毎朝自分の心の状態を5段階で自己評価して入力する。担任は、数値や変化を見て、悩みや心配事がないか、どんな嬉しいことがあったのかを聞くなど、会話のきっかけとして活用している。
- ・挨拶は前より増えてきている。春にどんな方が見守ってくれているのか紹介する場があるとよい。

### ③教員の業務適正化について

- ・チーム担任制の取組では、担任ではないクラスの子の名前を覚え、評価や授業の引継ぎなどをすると、負担は大きくなるのか。  
→同じ教材で2回授業ができるため、教材研究は半分になりより深く研究できる。人数が少ないため、2クラス分の評価は大きな負担ではなく、児童理解や生徒指導上でよい効果があったと感じている。
- ・小学校はどれだけ準備をしても1回きりなのでもったいないと思っていた。効率的で授業の反省も生かせるので非常によい取組である。

### ④その他

- ・たてわり活動や異学年交流では温かさが育っていたが、リーダーを育てるという視点ではいかがか。  
→どの行事においても6年生がリーダーシップを発揮してくれた。下学年からの期待や称賛がリーダーとしての自覚を芽生えさせ、6年生は達成感を味わいながらよいリーダーとして育ってくれた。
- ・防災クイズラリーは9年目だが、活発な質問や握手をする子もいて、例年よりさらに元気で明るく楽しんでいる様子が見られた。地域の参加者も児童とのかかわりを楽しんでいた。
- ・大雪のときは、地域の方が通学路の除雪をするなど、児童の安全確保に協力してくれていた。

## ○最後に

全体協議にていただいたご意見や要望は、来年度の教育活動の参考にしていきます。今後も、本学校運営協議会の協議や取組等について、お便りやtetoru、ホームページ等を活用しながら、保護者や地域の方へ周知を図っていきたいと思います。一年間、たくさんのご支援やご尽力をいただき、ありがとうございました。

